



あかね文庫お話しの会 おひさまだより

えほんの紹介

『もぐらとずぼん』

エドアルド・ペチシカ 文
ズデネック・ミレル え うちだりさこ やく 福音館書店



土の中からでてきたもぐらが、なんでも入る大きなポケットのついたずぼんを見つけ、ほしくてほしくてたまらなくなります。でも、どうやったら手にはいるのかわかりません。ねずみやちようちよに聞いてみます。それから、えびかに、よしきり、とまわりのたくさん生き物に手伝ってもらい、とうとう青い布をおあげます。

みんなの力が集まってついに出来上がったすてきな青いずぼんをはいて、鏡をのぞくもぐらくんは大満足。ミレルの描くもぐらも虫も花もすべての生き物がかわいく、色彩もすばらしい。これはチェコの絵本です。合わせて『もぐらとじどうしゃ』もどうぞ！。

小さなおともだち `きれいに整列`

Kちゃんはきれいに並べるのが大好き。

シールを貼るときは、ていねいにきれいに並べて貼ります。今回は「だんだん」になりました。また、スライムで作ったスイーツのストローは芸術的なさしかたになっています。プレイルームにあるおもちゃのやさいやくだものも、カットしてきれいにならべていきます。そしてお皿にじょうずに盛りつけします。

こんなにきれいに並べられるなんて、素敵なことですね。



草花の名前クイズ

“カラス/エンドウ”

どうしてこんな名前がついたのでしょうか？

- ① カラスが好きな豆だから
- ② 花後の豆の色が真っ黒になるから
- ③ 花がカラスの顔に似ているから



© 2018

『あまがえるりょこうしゃ トンボいけたんけん』

松岡達英 文・絵 福音館書店

あまがえるが、人間の捨てたペットボトルで作ったボートで、 TENTUMシ、カタツムリをトンボいけに案内します。お代はお弁当つきで500円。水の中の世界は不思議なこと、こわいこと、楽しいことがたくさんあります。池の中のさまざまな生き物たちのようすが詳しく描かれています。細かいところまで見て楽しんでほしい絵本です。

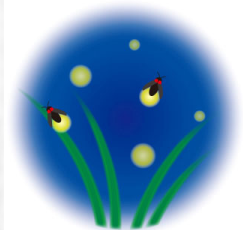
作者の松岡さんは新潟の川口町に住んでいて、川口町の池を観察してこの絵本を描きました。



♪ 季節のわらべうた

ほほほたる きれいに
あつちのみずは ながいぞ
こちのみずは あまいぞ
ほほほたる きれいに

(京都)



ほたる狩りの歌です。
ほたるを追いながら、または、
ほたるの光を思い描きながら、
そつと呼びかけましょう。